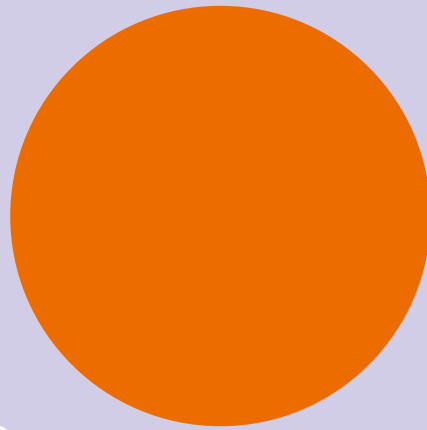


ITUC

International Trade Union Confederation

国際労働組合総連合



ITUC CSI IGB



日本労働組合総連合会

Japanese Trade Union Confederation (JTUC-RENGO)

ITUC 国際労働組合総連合



2006年11月、ウィーンで行われたITUC結成大会

はじめに

国際労働組合総連合（ITUC：International Trade Union Confederation）は、2006年11月、オーストリア・ウィーンにおいて、それまでの国際自由労連（ICFTU）、国際労連（WCL）、そして、いずれの国際労働組合組織にも加盟していなかった8つのナショナルセンターにより結成された。

この冊子は、ITUCの概要を説明するものである。

目次

1. ITUCの概要	2
ITUCの構成	
地域組織・機構	
ITUCの運営	
2. グローバルユニオンとグローバルユニオン評議会	8
グローバルユニオンとは	
グローバルユニオン評議会の設置	
GUFs・TUAC現況	
3. 国際労働運動の歴史と現在のITUC	13

1. ITUCの概要

正式名称：国際労働組合総連合

International Trade Union Confederation

結 成：2006年11月

本 部：ベルギー・ブリュッセル

Boulevard du Jardin Botanique, 20, 1000 Brussels, Belgium

機関会議：世界大会（World Congress）、執行委員会（General Council）、
運営委員会（Executive Bureau）、女性委員会（Women's
Committee）、青年委員会（Youth Committee）

加盟人員：167カ国・地域、337組織、1億9,000万人（2022年12月現在）

会 長：郷野 晶子

Ms. Akiko Gono（日本）

会長代理：キャシー・ファインゴールド

Ms. Cathy Feingold（アメリカ）

アントニオ・リスボア

Mr. Antonio Lisboa（ブラジル）

書 記 長：リュック・トリアングル

Mr. Luc Triangle（ベルギー）

U R L：<https://www.ituc-csi.org/>

主な目的：労働組合間の国際協力、グローバルなキャンペーンの展開、主
要国際機関への政策提言活動等を通じて、労働者の権利と利益
を擁護し、促進すること



郷野 晶子
会長



リュック・トリアングル
書記長

国際労働組合総連合(ITUC)指導部体制 (2022-2027)

<会長>

郷野 晶子 (新任) 日本労働組合総連合会(連合)参与

<会長代理>

キャシー・ファインゴールド (再任) アメリカ労働総同盟・産別会議
(AFL-CIO)国際局長

アントニオ・リスボア (新任) ブラジル中央統一労働組合(CUT)
国際関係局長

<書記長> 常勤

リュック・トリアングル* (新任) 前職：インダストリアル・ヨーロッパ
書記長

<書記次長> 常勤

エリック・ムウエズィ・マンズィ (新任) 前職：ITUCアフリカ地域組織書記次長

ホルダニア・ウレニャ・ローラ (新任) 前職：ITUC米州地域組織社会政策局長

<書記次長・地域書記長>

ITUCアジア太平洋地域組織 (ITUC-AP)

吉田 昌哉 日本労働組合総連合会(連合)出身

ITUC米州地域組織 (TUCA)

ラファエル・フレイレ・ネト ブラジル中央統一労働組合(CUT)出身

ITUCアフリカ地域組織 (ITUC-Africa)

クワシ・アドゥ・アマンクワ ガーナ労働組合会議(GTUC)出身

*2023年5月1日からリュック・トリアングルが書記長代行を務め、2023年10月の臨時大会にて書記長として選出。

<ITUCの構成>

●加盟組織

ITUCの加盟組織となっているのは、主にそれぞれの国のナショナルセンターである。1つの国で複数のナショナルセンターが加盟している場合もある。規約において、「民主的で独立した代表的なナショナルセンターで、ITUCの規約を遵守するものはすべて、加盟資格を有する」と定められている。

また、ITUCへの加盟資格を満たしてはいないが、自由で民主的な労働組合運動をめざし、将来的にはITUCへの加盟を希望する組織には、準加盟組織（Associated Organisation）の資格が与えられる。

●本部構成

大会で選出された書記長を最高責任者として、約80名の職員が本部事務所（ブリュッセル）で業務を行っている。また、ジュネーブ、ワシントンDC、サラエボ、ロンドンに事務所が置かれている。

●財政

活動は、加盟組織が納める加盟費を財源としている。また、民主的で独立した労働組合主義の発展と実践を支援するためのプロジェクトや、労働運動に対する弾圧や敵対的な行為の犠牲となっている人々の支援のために、「連帯資金」を設けている。

●他の国際機関との関係

ITUCは、国際労働機関（ILO）の労働側グループの事務局を務め、総会、理事会などすべての議決機関において、労働者の意見反映に努めている。国連の経済社会理事会（ECOSOC）においては総合諮問資格（general consultative status）を保有し、また、国連食糧農業機関（FAO）や国際通貨基金（IMF）、世界銀行、世界貿易機関（WTO）などの国際機関からは諸会議に参加する承認を得ている。さらに、G7、G20、APEC、ASEMなどの政府間会合に対しても、議長国との協議などを通じて政策提言を行っている。

<地域組織・機構>

2007年9月にアジア太平洋地域組織（ITUC-AP）、2007年11月にアフリカ地域組織（ITUC-Africa）、2008年3月に米州地域組織（ITUC-TUCA）が結成された。ICFTUはヨーロッパに地域組織を持たなかったが、ITUCには、その完全な地域組織とはいえないものの、欧州労働組合連合（ETUC）と共同で汎欧州地域評議会（PERC）が2007年3月に設立され、欧州地域の労働者の意思を吸い上げるチャンネルが設けられた。また、2014年10月、複数の地域組織をまたぐサブ地域組織として、アラブ労働組合総連合（ATUC）が結成された。

◆ITUCアジア太平洋地域組織

(ITUC-Asia Pacific : ITUC-AP)

所在地 : シンガポール

◆ITUC米州地域組織

(Trade Union Confederation of the Americas : TUCA)

所在地 : ウルグアイ・モンテビデオ

◆ITUCアフリカ地域組織

(ITUC-Africa)

所在地 : トーゴ・ロメ

◇アラブ労働組合総連合 ※サブ地域組織

(Arab Trade Union Confederation : ATUC)

所在地 : ヨルダン・アンマン

◇ITUC汎欧州地域評議会 ※地域機構

(Pan-European Regional Council : PERC)

所在地 : ベルギー・ブリュッセル

※参考

◇欧州労働組合連合

(European Trade Union Confederation : ETUC)

所在地 : ベルギー・ブリュッセル

加盟組織 : 41ヶ国93組織および10のヨーロッパ産業別組織

概要 : EC（現EU）の諸機関へ労働者を代表していくことを目的とし1973年に設立された。

ITUCとは協力関係にありながらも独立した組織として機能している。

<ITUCの運営>

●大会（World Congress）

ITUCの最高意思決定機関は、4年に一度開かれる大会である。大会は、一定の基準により加盟組織から選出された代議員によって構成される。ジェンダー平等を推進・達成するという目的を考慮し、2人以上の代議員を有する組織は、代議員の半数を女性が占めるものと定められている。

大会で審議される事項は、規約により以下のものと定められている。

1. 財政報告を含むITUCの活動に関する報告
2. 労働組合の方針に関する全般的問題
3. 大会以降のITUCの活動についての提案
4. ITUC規約の改正の提案
5. 加盟組織より提出されたその他の提案
6. 地域組織の活動に関する報告
7. 国際産業別労働組合組織(GUFs)やOECD労働組合諮問委員会(TUAC)との組織的な連携に関する報告

大会は執行委員会委員、書記長、監査員を選出し、大会期間中に新執行委員会において選出される会長、会長代理、書記次長を確認する。

●執行委員会（General Council）

ITUCの大会に次ぐ意思決定機関は執行委員会である。70名の委員で構成され、アフリカ地域11名、米州地域18名、アジア太平洋地域15名、欧州地域26名となっている。執行委員会は、会長、会長代理、副会長、書記次長を選出する。女性委員会から最大6名、青年委員会から最大2名（男女同数原則を適用）が執行委員に選出される。ジェンダー平等を積極的に推進するというITUCの目的を考慮し、執行委員会の女性比率は40%以上（段階的目標）と定められている。GUFsやTUACも代表者を出席させる権利を有する。開催は年に1回以上と定められている。

●運営委員会（Executive Bureau）

運営委員会は、大会直後の執行委員会により選出され、女性委員会委員長および副委員長、青年委員会委員長を含む最大25人で構成される。運営委員会の構成は、委員の女性比率を30%以上とするよう規定されている。開催は年に2回以上と定められている。

●各種委員会

執行委員会は、女性委員会、青年委員会を設置し、また必要に応じて人権・労働組合権委員会などを設置する。



第5回ITUC世界大会（2022年11月、オーストラリア・メルボルン）

2. グローバルユニオンとグローバルユニオン評議会



<グローバルユニオンとは>

グローバルユニオンは、急速なグローバル化が進む世界の中で、ITUC、国際産業別労働組合組織(Global Union Federations:GUFs)、OECD労働組合諮問委員会(Trade Union Advisory Committee to the OECD:TUAC)が協力関係を一層強化して国際労働運動の推進を図ることを目的としている。

グローバルユニオンは、2000年に南アフリカで開催された第17回ICFTU世界大会でスタートし、グローバル化が進む中での国際労働運動のあり方を議論した「ミレニアム・レビュー」から生まれたものである。2004年に宮崎で開催された第18回ICFTU世界大会では、大会のテーマでもあった「連帯のグローバル化」を進めるため、規約を改正し、「目標」の中に、「国際労働運動の共通のアイデンティティの下で、GUFs、TUACとの共同行動を発展、強化すること」と明記した。この位置づけはITUCになっても引き継がれている。

グローバルユニオン

ITUC

国際労働組合総連合

(ベルギー・ブリュッセル)

167カ国・地域、337組織、1億9,000万人

GUFs

国際産業別労働組合組織

BWI、EI、IFJ、IndustriALL、

ITF、IUF、

PSI、UNI、IAEA

TUAC

OECD労働組合諮問委員会

(フランス・パリ)

30カ国、58組織、

5,000万人

<グローバルユニオン評議会の設置>

2006年11月のITUC結成大会において、グローバルユニオンをさらに発展させた枠組みとしての「グローバルユニオン評議会（Council of Global Unions）」を国際産業別労働組合組織（GUFs）、OECD労働組合諮問委員会（TUAC）との枠組みで結成することを確認した。そして、2007年1月、ITUC、IMF（国際金属労連）を除く10のGUFs、そしてTUACの代表が設置のための協定書に署名し、評議会は正式に発足した。その後GUFsの組織統合が進んだことにより、現在はITUCと9のGUFsおよびTUACで構成されている。

<GUFs・TUAC現況>

BWI（Building and Wood Workers' International：国際建設林業労働組合連盟）

本部：スイス・ジュネーブ

会長：Mr. Per Olof Sjöo（スウェーデン）

書記長：Mr. Ambet Yuson（フィリピン）

加盟人員：1,200万人

日本の加盟協議会：BWI日本加盟組合協議会（BWI-JAC）

日本の加盟組織：UAゼンセン、森林労連、日建協、全建総連



EI（Education International：教育インターナショナル）

本部：ベルギー・ブリュッセル

会長：Ms. Susan Hopgood（オーストラリア）

事務局長：Mr. David Edwards（アメリカ）

加盟人員：3,200万人

日本事務所：日教組

日本の加盟組織：日教組



IFJ (International Federation of Journalists : 国際ジャーナリスト連盟)

本 部：ベルギー・ブリュッセル
 会 長：Mr. Younes M-Jahed (モロッコ)
 書 記 長：Mr. Anthony Bellanger (フランス)
 加盟人員：60万人



IndustriALL Global Union (インダストリアル・グローバル・ユニオン)

本 部：スイス・ジュネーブ
 会 長：Mr. Jörg Hofmann (ドイツ)
 書 記 長：Mr. Atle Hoie (ノルウェー)
 加盟人員：5,000万人



日本の加盟協議会：インダストリアル・グローバルユニオン日本加盟組織協議会(JLC)
 日本の加盟組織：UAゼンセン、電力総連、JEC連合、ゴム連合、紙パ連合、
 全国ガス、化労研、金属労協/JCM (自動車総連、電機連合、
 JAM、基幹労連、全電線)

ITF (International Transport Workers' Federation : 国際運輸労連)

本 部：イギリス・ロンドン
 会 長：Mr. Paddy Crumlin (オーストラリア)
 書 記 長：Mr. Stephen Cotton (イギリス)
 加盟人員：1,850万人



日 本 事 務 所：ITF東京事務所 (東アジア小地域事務所)
 日本の加盟協議会：全日本交通運輸産業労働組合協議会 (交運労協：ITF-JC)
 日本の加盟組織：運輸労連、私鉄総連、JR連合、JR総連、交通労連、航空連合、
 サービス連合 (観光・航空貨物委員会)、自治労、海員組合、
 全自交労連、国労、全国港湾、航空連、
 MSG (全港湾、JP労組関連事業 (輸送)、労供労連、全日建、
 自治労・全国一般、鉄構労、鉄道関連労)

IUF (International Union of Food, Agricultural, Hotel, Restaurant, Catering, Tobacco and Allied Workers' Associations : 国際食品関連産業労働組合連合会)

本 部 : スイス・ジュネーブ

会 長 : Mr. Mark Lauritsen (アメリカ)

書記長 : Ms. Sue Longley (イギリス)

加盟人員 : 1,200万人

日本事務所 : IUF日本事務所

日本の加盟協議会 : 国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)

日本の加盟組織 : UAゼンセン、フード連合、サービス連合、全国農団労



PSI (Public Services International : 国際公務労連)

本 部 : フランス・フェルネイ・ヴォルテール

会 長 : Ms. Britta Lejon (スウェーデン)

書記長 : Mr. Daniel Bertossa (オーストラリア)

加盟人員 : 3,000万人

日本事務所 : PSI東京事務所 (東アジア小地域)

日本の加盟協議会 : PSI加盟組合日本協議会 (PSI-JC)

日本の加盟組織 : 自治労、国公連合、全水道、全消協、ヘルスケア労協



UNI Global Union (UNIグローバルユニオン)

本 部 : スイス・ニヨン

会 長 : Mr. Gerard Dwyer (オーストラリア)

書記長 : Ms. Christy Hoffman (アメリカ)

加盟人員 : 2,000万人

日本事務所 : UNI-Apro東京事務所

日本の加盟協議会 : UNI日本加盟組織連絡協議会
(UNI加盟協 : UNI-LCJapan)

日本の加盟組織 : 印刷労連、情報労連、全印刷、全信連、生保労連、UAゼンセン、
全国農団労、労済労連、全労金、自動車総連、損保労連、
日放労、JP労組、新聞労連、民放労連、日本プロ野球選手会



IAEA (International Arts and Entertainment Alliance : 国際芸術・エンターテインメント連盟)

概要 : FIA (国際俳優連盟)、FIM (国際音楽家連盟)、UNI-MEI (UNIメディア・エンターテインメント・芸術部会) から成り、芸術・演劇などに携わる労働者の権利擁護・促進などを行っている。



TUAC (Trade Union Advisory Committee to the OECD : OECD労働組合諮問委員会)

本部 : フランス・パリ

会長 : Ms. Liz Shuler (アメリカ・AFL-CIO会長)

事務局長 : Ms. Veronica Nilsson (スウェーデン)

加盟組織数 : 58組織

加盟国 : 30カ国

加盟人員 : 5,000万人

概要 : 世界36カ国の先進国が国際経済全般について協議することを目的とした国際機関であるOECD (経済協力開発機構) には、労働組合の諮問機関としてTUACが設置されている。TUACに加盟する組織のほとんどはITUCに加盟している。



3. 国際労働運動の歴史と現在のITUC

<労働運動のはじまり>

18世紀、蒸気機関や紡績機械の発明などがもたらした産業革命によって、社会の工業化が一気に進んだ。その波はイギリスからヨーロッパ大陸、アメリカ、そして日本に及んだ。それまで農民や漁民として暮らしてきた人びとが、賃金労働者となり、資本家と労働者の対立という新たな社会問題が生みだされた。イギリスでは1820年代に最初の労働組合が生まれたと言われるが、それは1868年に最初のナショナルセンター「イギリス労働組合会議（TUC）」へと成長した。1886年にアメリカで、1891年にはドイツで、1897年には日本でナショナルセンターが誕生した。労働組合の連帯の流れは、各国内の動きにとどまらず、国境を越えて発展していく。そのモデルとなったものは、1886年に結成された全スカンジナビア労働者会議である。まず、スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの労働組合指導者が定期的に会合を持ち始め、のちに、フィンランドとアイスランドの代表も加わるようになった。これに続いて産業別組織の国際的統一が動きだし、1889年、アントワープで、国際たばこ労働者連盟（TWI）が結成されたのにつき、皮革労働者、縫製工、運輸労働者などの国際組織が結成された。

しかし、国際労働組合組織の展開は容易なものではなかった。1864年に結成された国際労働者協会（IWA・第一インターナショナル）の歩みに見られるように、多くの組織は、政治性の強い運動となりがちであり、政治的、思想的な問題からその多くが失敗した。

<IFTUの誕生>

1901年、全スカンジナビア労働者会議の成功を契機に、最初の国際労働組合会議において最初の国際労働者組織が創立された。国際労働組合書記局（ITUS）の設立である。その後、アメリカ労働総同盟（AFL）の加盟があり、国際労働組合書記局は、国際労働組合連盟（IFTU）の結成に発展した。1913年3月のことであった。しかし、1914～1918年の第1次世界大戦によって、予定されていた活動はすべて停止した。

1919年のアムステルダム会議でIFTUは再生し、1919年から1945年ま

での活動の基礎となる主要原則が決定された。戦争中にIFTUは、和平協定における活動や国際労働機関（ILO）の設立（1919年）に対する貢献、反ファシズム、反ナチズム闘争で重要な役割を果たした。1940年に戦争状態が宣言されたあと、IFTUはロンドンの新しい本部で活動を続けた。そして第2次世界大戦後の運動に向けて準備を進めた。

<ICFTUの結成>

1944年末、西欧諸国のほとんどは解放され、1945年2月、ロンドンで準備会議が開催されて、世界的な労働組合の協調体制への希望が広く表明された。これを受けて、1945年9月25日、パリで世界労働組合会議が開かれ、世界労連（WFTU）の結成が決定された。

WFTUが活動を開始した1946年以降、その運動が共産主義的なものに偏っていることに、多くの加盟組織が危惧を抱き始めた。そして、真に自由にして民主的な世界組織を求める声が世界に広がった。こうして1949年12月、ロンドンで新しい世界組織が結成されることとなった。これが国際自由労連（ICFTU）である。ロンドンの結成大会には日本を含む53カ国の代表が出席した。

それまでの国際労働運動は主として西欧と北米で活動していた。1973年には欧州労働組合連合（ETUC）が結成されている。また、ICFTUは初めてアジア、太平洋、南米、アフリカを含む世界の主要な労働組合の参加を



1949年12月 ロンドンでのICFTU結成大会

実現し、真に世界のセンターとしての力を持つようになった。60年代から80年代までWFTUとICFTUは対立を続けていたが、70年代に一時東西の緊張が緩んだ頃から、国際レベルでの産業別組織間の交流が盛んに展開されるようになった。90年代になり、東西冷戦の終焉、ソ連の崩壊を受けてWFTUは名目的存在になり、現在に至っている。2000年には、旧ソ連のナショナルセンターであったロシア独立労働組合連盟（FNPR）等もICFTUに加盟し、国際労働運動はICFTUが中心となって展開されていった。

＜WCLの動き＞

国際労連（WCL）の前身は「国際キリスト教労連（IFCTU）」で、1920年に結成された。

IFCTUは当初、その原則宣言に「活動の基盤をキリスト教の社会原則におく」としていたが、第2次世界大戦以降は、キリスト教以外の宗教を信仰する人びとも組合員として加盟するにつれ、宗教観にとらわれない純粋な労働組合活動を独自に展開していた。1968年の第16回大会（ルクセンブルク）において、それまでの原則宣言に代えて、「信仰、人生観、民族、性別の如何を問わず、世界のすべての労働者に呼びかける」という新宣言を採択し、同時に、その名称を「国際労連（World Confederation of Labour：WCL）」と改称した。

＜国際労働運動の統合、ITUCの結成＞

2000年に南アフリカ・ダーバンで開催された第17回ICFTU世界大会から「グローバルユニオン」としての運動が本格的にスタートした。

2004年12月に日本の宮崎で、「連帯のグローバル化」をテーマに第18回ICFTU世界大会が開催された。大会において、国際労連（WCL）との統合を基礎とした新しい国際労働組合組織を創設することが確認された。

2006年10月31日、ICFTU、WCLは共に発展的解散をし、それまでどちらにも加盟していなかったナショナルセンターも参加して、「国際労働組合総連合（International Trade Union Confederation：ITUC）」が結成され

た。結成大会は、オーストリアのウィーンで10月31日から11月3日まで開催された。

ITUCとWCLには、アジア太平洋、アフリカ、米州にそれぞれの地域組織があったが、2008年3月までに各地域における統合が完了した。



2004年12月 宮崎でのICFTU世界大会

<現在のITUC>

ITUCは、世界167カ国・地域に、337加盟組織、1億9,000万人（2022年12月現在）の組合員を擁する、世界最大かつ実質的に国際労働組合運動を唯一代表する労働組合組織である。主要な加盟組織は、日本の連合（JTUC-RENGO）、アメリカ労働総同盟・産別会議（AFL-CIO）、イギリス労働組合会議（TUC）、ドイツ労働総同盟（DGB）などである。スウェーデン、インド、イタリア、フィンランドなどでは、複数のナショナルセンターがITUCに加盟している。



ITUC

International Trade Union Confederation

国際労働組合総連合

編 集 : 日本労働組合総連合会 国際政策局
所在地 : 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
電 話 : 03-5295-0526
F a x : 03-5295-0548
E-Mail : jtuc-kokusai@sv.rengo-net.or.jp

2024年3月発行